

取扱説明書

通信型ドライブレコーダーユニット

TMX-DM03

はじめに	
安全上のご注意	
端末について	
端末の使い方	
ドライブレコーダー機能 (映像記録機能)	
事故予防・ 事故防止支援機能	
ドライブレコーダーの 設定	
データアップデート	
困ったときは	
付録	

目次

はじめに

本書の見かた	4
--------------	---

安全上のご注意

安全上のご注意.....	5
内蔵バッテリーに関するご注意	5
接続・取り付け	6
使用方法	7
シガーライター電源ケーブルに 関するご注意	9
異常時の問い合わせ	9
利用上のご注意.....	10
GPS について	11
microSD カードの取り扱いに 関するご注意	11

端末について

各部の名称と主な働き	12
ホーム画面に表示される アイコンについて.....	15
タッチパネルで操作する	16
ステータス LED の 表示について	17

端末の使い方

日常の運転時の機能.....	18
端末の使い方 (サービスの開始と終了).....	19
サービスの開始から終了まで.....	19
運転者を変更する	22
端末の電源をオフにする	23

ドライブレコーダー機能 (映像記録機能)

ドライブレコーダー機能 (映像記録機能)	24
ドライブレコーダー機能 (映像記録機能) について	24
ドライブレコーダー機能に関する ご注意	25
録画された映像の取り扱いについて ..	26

事故予防・事故防止支援機能

ドライブサポート機能.....	27
レーンキープサポート機能について ..	28
レーンキープサポート機能に 関するご注意	29
前方車両接近警告機能について.....	30
前方車両接近警告機能に関する ご注意	31
ドライバーモニタリング機能...32	
眠気検知機能について	32
わき見検知機能について	33
ドライバーモニタリング機能に 関するご注意	33
危険運転警告機能.....	34
Intelligent Pilot.....	35
ユア メッセージ	35
ユア アラート.....	36
・ユア アラートに関するご注意	36

ドライブレコーダーの設定

ドライブレコーダーの設定	37
システム設定画面を表示する.....	37
Wi-Fi 接続を設定する	38
Bluetooth 接続を設定する.....	39
各種設定を変更する	41
設定項目一覧.....	42
・システム設定	42
・端末情報.....	43
・ドライブレコーダー	43
・ドライブサポート	44
・ドライバーモニタリング	44

データアップデート

端末をアップデートする	45
-------------------	----

困ったときは

よくあるお問い合わせ (FAQ)...	46
故障かな?と思ったら	47
エラーメッセージ.....	50
端末を起動したとき.....	50
ドライブレコーダー機能を 利用しているとき.....	52

付録

microSD カード / nanoSIM カードの交換について	53
充電式バッテリーリサイクル ご協力をお願い	55
主な仕様	56
電波に関するご注意.....	58

本書の見かた

表記	意味
⚠ 警告 / ⚠ 注意	取り扱いで注意していただきたいことや、端末の性能を維持するうえで注意していただきたいことについて、説明しています。
✎ メモ	操作するうえでのヒントや、機能に関する補足について説明しています。
[○○]	端末の画面に表示される選択項目を表します。
→P.XXの「○○」 (→P.XX)	参照していただきたい箇所を説明しています。 P.XX：参照箇所のページ 「○○」：参照箇所のタイトル

- 本書では、microSD メモリーカード、microSDHC メモリーカード、および microSDXC メモリーカードを総称して「microSD カード」と表記しています。
- 本書では、通信に必要な電波強度を満たしている場所を「通信圏内」、満たしていない場所を「通信圏外」と表記しています。
- 本書で使っているイラストや画面例、メッセージの内容は、実際の製品と異なることがあります。
- 実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。

安全上のご注意

安全にご使用いただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに及ぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



危険

「人が死亡または重傷を負う可能性が差し迫って生じることが想定される内容」です。



警告

「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。



注意

「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意（警告を含む）しなければならない内容です。



禁止（やってはいけないこと）の内容です。



必ず行っていただく強制の内容です。

内蔵バッテリーに関するご注意



危険



禁止

火の中への投入や火気に近づけたり、加熱したりしない
絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や保護機構を損傷するだけでなく、漏液した電解液に引火し、破裂、発火の原因となります。

直接叩くなどして強い衝撃を加えない

変形、保護機構が破損する可能性があり、発熱、破裂、発火の原因となります。

指定以外のバッテリーは使用しない

バッテリーの破裂、液もれにより、ケガや周囲を汚染する原因となります。

液体で濡らさない

組み込まれている保護回路が壊れ、異常な電流、電圧でバッテリーが充電され、発熱、破裂、発火の原因となります。

警告



強制

バッテリーの液もれが発生した場合は、ただちに使用を中止し、付属のシガーライター電源ケーブルのシガープラグをシガーソケットから抜く
バッテリーの液が皮膚や衣服に付着したときは、きれいな水で洗い流してください。目に入ったときは、きれいな水で洗った後、ただちに医師にご相談ください。

接続・取り付け

警告



禁止

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない
エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因となります。
前方視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には絶対に取り付けない
交通事故やケガの原因となります。

電源ケーブルの被膜を切って、他の機器の電源を取るなど、分岐配線をしない
電源ケーブルの電流容量がオーバーし、ケーブルが過熱して、火災や感電、故障の原因となります。

ケーブル類は、保安基準に適合しない場所に貼り付けたり、一度剥がしたものをそのまま再び貼り付けたり、汎用の両面テープで貼り付けたりしない
視界不良やケーブル類が剥がれて、事故の原因となります。

コード類は絶対に途中で切断しない

コード類にはヒューズが付いている場合があるため、保護回路が働かなくなり、火災の原因となります。



強制

必ず付属の部品を使用し、説明書に従い確実に固定する

付属の部品以外を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れて運転の妨げとなり、事故やケガの原因となります。

説明書に従って接続・取り付けを行う

説明書に従わずに接続・取り付けを行うと、火災や故障の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないよう配線する
断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コード類は運転操作の妨げとならないように固定する

ステアリングやセレクトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故の原因となります。

取り付けと配線が終わったら、電装品が元通り正常に動作するか確認する
正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因となります。

小物部品、microSD カード、nanoSIM カードは、乳幼児の手の届かないところに保管する

誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

⚠ 注意



禁止

ヒーターの熱風が直接あたらないように吹き出し口の方向を調整する
内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

端末を取り付け指定位置以外のところに取り付けない

落下などの原因となることがあります。

雨が吹き込むところや水や結露、ほこり、油煙などが混入するところには
取り付けない

発煙や発火、故障の原因となることがあります。



強制

コードが金属部に触れないように配線する

金属部に接触するとコードが破損して、火災や感電、故障の原因となることがあります。

使用方法

⚠ 警告



禁止

運転者は運転中に操作をしない

前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。

運転者は運転中に画像を注視しない

前方不注意となり交通事故の原因となります。

端末本体および内蔵バッテリーを液体で濡らさない

発煙・発火・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

画面が映らない、音が出ない、音声が割れる、歪むなどの異常・故障状態で使用しない

思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

通気孔や端子部分などから端末内部に異物を入れない

金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。発煙・発火・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

引火性ガス（プロパンガス、ガソリンなど）の発生するような場所では、電源を切り、使用しない

引火・爆発の原因となります。

船舶、航空機、バイク、登山で使用しない

位置誤差が生じたり、バッテリーがなくなったりして、機能が正常に使用できず事故の原因となります。また、塩害などにより発熱、破裂、発火の原因となります。



接触禁止

雷が鳴り出したら、端末やケーブル類に触れない

落雷による感電の危険性があります。

警告



分解禁止

端末本体および内蔵バッテリーを分解や改造しない
交通事故や火災、感電の原因となります。また、分解すると保証の対象外になります。



禁止

端末を固定している各種ねじを外した状態で使用しない
走行中の振動や衝撃により、端末が落下する原因となります。



強制

風呂場、シャワー室や調理台、加湿器のそばなど、油煙、湿気、ほこりの多い場所で使用しない

火災、感電の原因となります。

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア）のヒューズを使用する
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

注意



禁止

キャッシュカードやフロッピーディスクなどを端末に近づけない
磁気データが消去されることがあります。

端末をダッシュボードの上に放置しない
変形、バッテリーの破裂、液もれの原因となることがあります。

シガーライターのプラグを濡らしたり汚したりしない
火災・感電の原因となることがあります。濡れたり、汚れたりしたときは、きれいに拭き取ってください。



強制

音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する
車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となることがあります。

電源オン時はボリュームに注意する
電源オン時に突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。



注意

温度の上昇に注意する
端末は、環境や使用状況によって温度が上昇する場合があります。ケガや事故の原因となることがありますので、ご注意ください。

シガーライター電源ケーブルに関するご注意

警告



禁止

船舶などの直流（DC）電源には接続しない

火災の原因となります。

ケーブルや端子部を傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、加工したり、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりしない
ケーブルや端子部が破損し、火災・感電の原因となります。

濡れた手で（電源）プラグを抜き差ししない

感電の原因となります。

他の電気製品には使用しない

付属のシガーライター電源ケーブルは、端末のみで使用することを目的とした専用品です。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となります。

端末に付属のもの以外は使用しない

他の電源ケーブルを使用した場合、端末の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱により火災・感電の原因となります。



強制

電源プラグはきれいにしておく

電源プラグの端子、および付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから、乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

プラグはシガーソケットまたはアクセサリソケットに根元まで確実に挿し込む

差し込みが不完全だと発熱したり、ほこりが付着して火災・ケガの原因となります。

注意



禁止

プラグを抜くときは、ケーブルを引っ張らない

ケーブルが破損し、発熱・火災・ケガ・感電の原因となることがあります。



強制

使用しないときや、お手入れのとき、移動させる場合はプラグを抜く

発熱・火災・ケガの原因となることがあります。

異常時の問い合わせ

警告



強制

万一異常が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ず販売店に相談する
そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

利用上のご注意

- 本端末は車載用です。取扱説明書、取付説明書の記載を守らず、別用途で使用された場合は保証の対象外となります。さらに、故障、不具合に対して製造元は一切の責任を負いかねますのでご注意ください。
- 取扱説明書、取付説明書に記載されている注意事項を守らないことによって生じる不具合に対しては、製造元は責任を負いかねますのでご注意ください。正しく取り扱わなかった場合などは保証の対象外となりますので正しくご利用ください。
- 本端末をご使用いただく場合は、必ず付属の部品を使用し、改造などは行わないでください。本端末の改造などによって生じる故障、不具合などに対して、製造元は一切の責任を負いかねますのでご注意ください。正しく取り扱わなかった場合の機能、性能の保証は致しかねますので正しくご利用ください。
- シガーソケット分配器を使用してご利用いただく場合は、使用状況により車両本体のヒューズ破損等故障の原因となる可能性がございますので、お客様の判断・責任のもとで行ってください。
- お車のエンジンを切った場合、特定の機能以外はご利用いただけません（お車のエンジンを切っても端末がスリープ状態にならない車種（常時電源車など）を除く）。
- 端末を取り付けると、お車のサンバイザーに干渉する場合があります。
- 端末の表現するすべての機能は、周囲の安全を保証するものではありません。必ず実際に目視で安全を確認しながら運転してください。
- 端末の取り付け位置や周辺の電装機器によっては、双方の動作に影響が出る場合があります。
- 重大事故などにより、端末でご利用のデータやファイルが破損したり消去されたりする可能性があります。破損したデータや消去したデータは復元できません。
- 端末にペンキや車のワックスを塗ったり、シールなどを貼らないでください。感度が低下したり、電波を受信できなくなることがあります。
- 端末に内蔵しているリチウムイオンバッテリーは消耗品です。「バッテリー交換時期になりました。販売店にご連絡ください。」のメッセージが表示されたときや、十分に充電しても起動に時間がかかるようになったときは、販売店にご連絡ください。そのままご利用を続けた場合、適切なサービスを提供できない可能性があります。
- 不要となったバッテリーを廃棄する場合は、各地方自治体の指示に従って処理してください。

GPS について

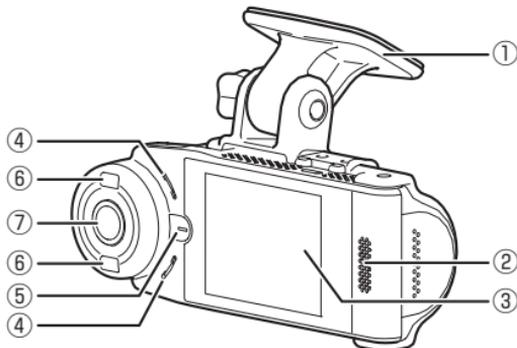
- GPS 衛星（人工衛星）から位置測定用の電波を受信して、現在地を測位するシステムが GPS（Global Positioning System：グローバルポジショニングシステム）です。
- GPS 衛星信号は、固体物質（ガラスを除く）を通過することができません。次のような場所にいるときは、GPS 衛星の電波がさえぎられて受信できないことがあります。
 - － トンネルの中やビルの駐車場
 - － 2層構造の高速道路の下
 - － 高層ビルの群集地帯
 - － 密集した樹木の間
- 長い時間 GPS による測位ができない場合、緯度経度情報がずれたり止まったりする場合があります。このような場合でも、GPS の電波を受信してしばらくすると正しい位置に修正されます。
- 準天頂衛星システム「みちびき」に対応しています。
- 本書では GNSS に関して、一般的な GPS という文言を使用しています。

microSD カードの取り扱いに関するご注意

- 端末は、microSDHC カード（16 GB～32 GB、Class4/6/10）、microSDXC カード（～512 GB、Class4/6/10）に対応しています。ただし、すべての microSD カードの動作を保証するものではありません。
- microSD カードを取り付ける、または取り外す場合は、端末の電源を必ずオフにしてください。（→P.23）お車のエンジンを切っただけでは端末の電源はオフにはならず、端末が microSD カードにデータを書き込むことがあります。このときや電源がオンのときに、microSD カードの取り付け、取り外しをすると、データや microSD カード自体が破損するおそれがあります。
- microSD カードは消耗品です。普通に使用していても正常に書き込みや消去などの動作をしなくなる場合があります。「microSD カードの異常を検知しました。一度エンジンを切り、microSD カードを抜き差ししてください。」のメッセージの表示が繰り返される場合には、端末の電源をオフにして（→P.23）トレイの抜き差しを実施してください。それでもメッセージ表示が繰り返される場合には販売店にご連絡ください。
- お持ちのパソコンなどで認識できている microSD カードが、まれに端末で認識しない場合があります。
- microSD カードを新品に交換しても認識しない場合は、販売店にご連絡ください。

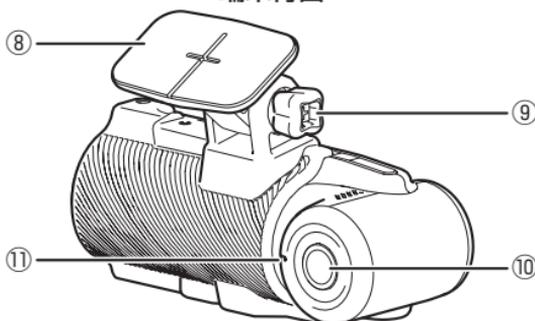
各部の名称と主な働き

端末正面



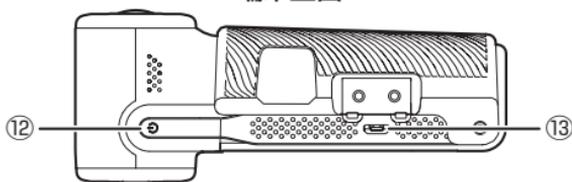
①台座	端末をフロントガラスに取り付けるための部品です。
②スピーカー	端末の音声メッセージと警告音などが流れます。
③液晶モニター	端末のカメラで撮影するお車前方および車内の映像や、各種設定を行うための画面を表示します。操作するときは、指でタップします。 → P.16 の「タッチパネルで操作する」
④マイク	録画の際の音声を集音します。
⑤ステータス LED/ フロントスイッチ	端末の状態をステータス LED の色や点灯状態により示します。 現在、フロントスイッチに機能は割り当てられていません。
⑥サブカメラ用赤外線 LED	車内の映像を撮影するときに使用されます。
⑦サブカメラ	車内の映像を撮影します。

端末背面



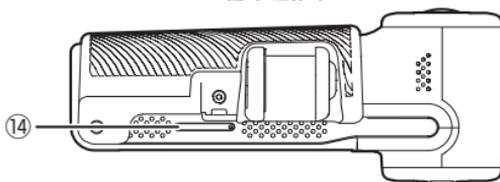
⑧両面テープ (はくり紙付き)	台座をフロントガラスに貼り付けるために使用します。
⑨端末固定ネジ	端末と台座の固定や角度調整時に使用します。
⑩メインカメラ	お車前方の映像を撮影します。
⑪マイク	録画の際の音声を集音します。

端末上面



⑫電源ボタン	電源オフ時：2秒以上押し続けると電源がオンになります。 電源オン時：押すたびに画面の表示 / 非表示が切り替わります。2秒以上押し続けると電源オフ操作が可能になります。 → P.19の「端末の使い方 (サービスの開始と終了)」
⑬マイクロUSB電源端子 (DC IN 5V)	付属のシガーライター電源ケーブルを接続する端子です。

端末底面

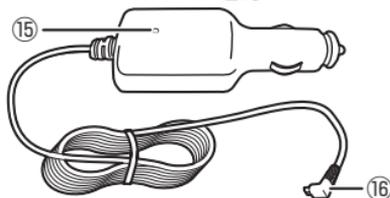


⑭ microSD カード トレイ

microSD カードおよび nanoSIM カードを装着
します。

→ P.53 の「microSD カード/nanoSIM カ
ードの交換について」

シガーライター電源ケーブル



⑮ 給電インジケータ

お車からシガーライター電源ケーブルに、正し
く給電されている場合は点灯します。

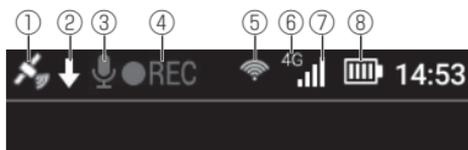
⑯ マイクロ USB 端子

⑬ マイクロ USB 電源端子 (DC IN 5V) に接
続します。

ホーム画面に表示されるアイコンについて

「ホーム画面」* 上部のステータスバーにはさまざまなアイコンが表示され、内蔵バッテリーの残量や通信状況など端末の状態を確認できます。

*画面上部にアイコンのみが表示されている状態の画面です。



①		GPS 電波強度
		GPS 測位不能
②		アップデートデータがダウンロード済み、次回起動時アップデート
		アップデートデータのダウンロード中
③		録音中
④		イベント録画中
		常時録画中
		録画機能を利用できない状態
⑤		Wi-Fi 電波強度
		Wi-Fi 電波切断
⑥		モバイルネットワークの種類
⑦		通信の電波強度
		通信圏外
⑧		内蔵バッテリーの充電状況

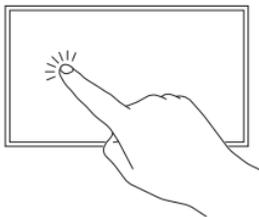
①～④のアイコンの順は図のとおりにならない場合があります。

タッチパネルで操作する

画面をタップやドラッグすることで、さまざまな画面の操作ができます。操作方法は以下のとおりです。

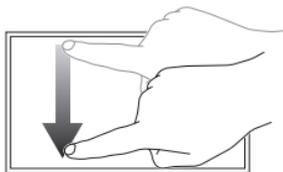
■タップ

メニュー項目やアイコンを指で軽くたたきます。



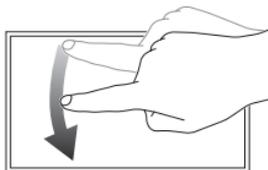
■ドラッグ

タップしたまま、目的の場所まで指をスライドします。



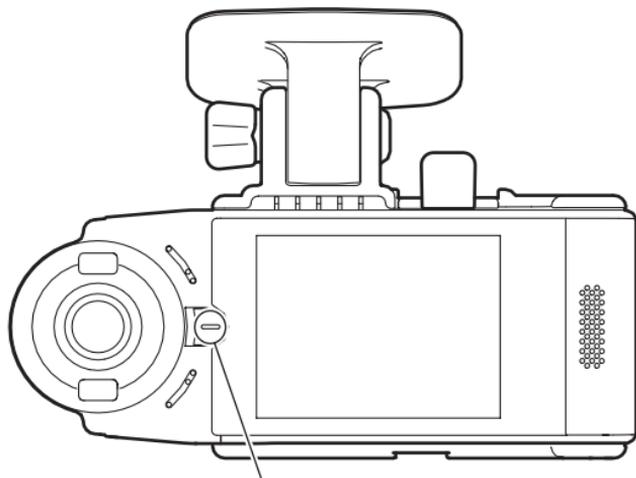
■フリック

タップしたまま、移動したい方向へ指を軽くはじきます。



ステータス LED の表示について

端末の状態をステータス LED の表示で確認できます。



ステータス LED

端末の状態	LED 表示
常時録画中	赤点灯*
イベント録画中	橙点灯
録画なし：録画不可能 (microSD カードの異常／未挿入／初期化 中 など)	緑点滅
スリープ状態中、内蔵バッテリーのみで起 動中、または電源オフ時	消灯

* 常時録画中にイベント録画が発生したときは、橙点灯に切り替わります。

日常の運転時の機能

利用場面に応じ、端末は以下の機能を提供します。

- 運転開始時の機能
 - 起動アナウンスメッセージ
→ P.19の「サービスの開始から終了まで」
 - ユア メッセージ
→ P.35の「ユア メッセージ」
- 運転中の機能
 - 映像記録機能
→ P.24の「ドライブレコーダー機能（映像記録機能）について」
 - レーンキープサポート機能
→ P.28の「レーンキープサポート機能について」
 - 前方車両接近警告機能
→ P.30の「前方車両接近警告機能について」
 - 眠気検知機能
→ P.32の「眠気検知機能について」
 - わき見検知機能
→ P.33の「わき見検知機能について」
 - 危険運転警告機能
→ P.34の「危険運転警告機能」
 - ユア アラート
→ P.36の「ユア アラート」

端末の使い方（サービスの開始と終了）

端末を利用するには、取付説明書の「端末の取り付け方」に従って取り付け、初期動作確認を行った後、ご利用ください。

サービスの開始から終了まで

1 付属のシガーライター電源ケーブルのシガープラグをお車のシガーソケットまたはアクセサリースOCKETに接続します

2 お車のエンジンをかけます

お車のエンジンと連動して、端末の電源がオンになります。電源がオンになると起動します。お車のエンジンをかけるときは、端末の電源ボタンに触れないようにしてください。

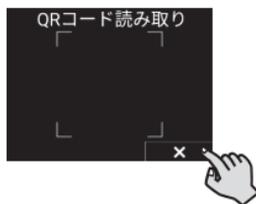
メモ

- 端末に異常などがあるときに、メッセージが表示されることがあります。→ P.50 の「エラーメッセージ」

3 端末で QR コードを読み取ります

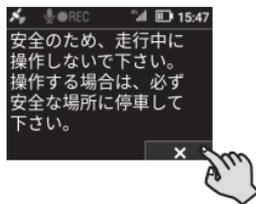
QR コードの読み取り画面が表示されます。QR コードをサブカメラに向けてください。

読み取りを中止するときは [×] をタップします。



4 起動時コーションが表示されます

コーションの読み上げが終わってからしばらくすると、次の画面へ切り替わります。[×] をタップすると、次の画面に進みます。



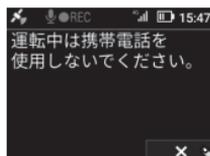
5 起動アナウンスメッセージが表示されます

メッセージの読み上げが終わってからしばらくすると、次の画面へ切り替わります。上下にフリックすると画面がスクロールします。

[×]をタップすると、次の画面に進みます。

メモ

- 起動アナウンスメッセージが設定されていない場合は表示されません。



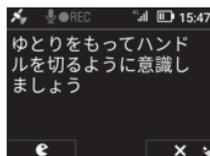
6 ユア メッセージ (→ P.35) が表示されます

メッセージの読み上げが終わってからしばらくすると、次の画面へ切り替わります。

メッセージを再度お聞きになりたいときは、 をタップしてください。

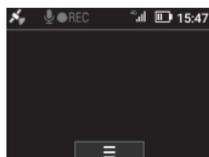
上下にフリックすると画面がスクロールします。

[×]をタップすると、次の画面に進みます。



7 (メニューアイコン) が表示されたら利用開始可能です

運転をお楽しみください。



運転が終了したら、お車のエンジンを切ります

端末がスリープ状態になります。

お車のエンジンをかけると、スリープ状態を解除し端末の電源を再びオンにできます。

お車のエンジンをかけずに端末の電源ボタンを押すと、「給電が検知できないため、サービスを開始できませんでした。ケーブルのプラグをシガーソケットに挿してください。」と表示され、内蔵バッテリーで起動します。このときは機能が制限されます。

メモ

- スリープ状態とは、ACC 電源の供給が絶たれた際、内蔵バッテリーの消耗を抑えるために一部機能に制限をかけた状態のことです。

注意

- お車のエンジンを切っても、端末がスリープ状態にならない車種（常時電源車など）の場合、端末を利用しないときは必ずシガーソケットまたはアクセサリソケットからシガープラグを抜いてください。抜き忘れるとお車のバッテリー上がりの原因となります。
- 車内や端末周辺の温度が高い場合、以下の製品保護機能が動作します。
 - 端末の電源をオンにできない。
 - 端末を利用しているときに、電源が自動でオフになる。その場合は、温度が十分に下がってから端末の電源ボタンを2秒以上押し、電源をオンにしてください。

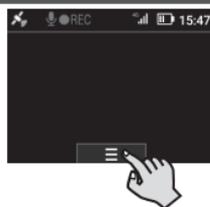
メモ

- 内蔵バッテリーのフル充電までの時間は最短約2時間*ですが、端末の状態や端末周辺の環境により、充電に時間がかかったり充電されなかったりする場合があります。なお、バッテリーは使用していなくても消耗します。
 - *新品状態で、端末周辺の温度が25℃の場合
- 端末をはじめてご使用になる場合は、起動後に初期動作確認が表示されます。画面に表示される指示および取付説明書の説明をご覧ください。→取付説明書の「端末の取り付け方」
- お車のエンジンをかけた状態でシガーライター電源ケーブルを抜き差ししても、端末はスリープ状態 / 電源がオンになります。
- 端末が起動した際にメッセージや設定を行う画面が表示された場合は、画面の表示に従って操作してください。

運転者を変更する

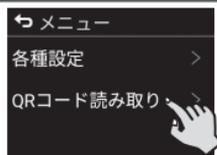
エンジンをかけたタイミング以外に、任意のタイミングで QR コードを読み込ませることにより、運転者の変更を行うことができます。

1 [☰] をタップします



2 [QRコード読み取り] をタップします

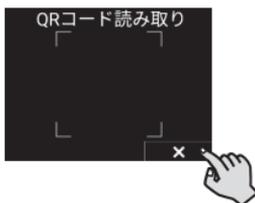
QRコードの読み取り画面が表示されます。



3 端末で QR コードを読み取ります

QRコードをサブカメラに向けてください。

読み取りを中止するときは [×] をタップします。



端末の電源をオフにする

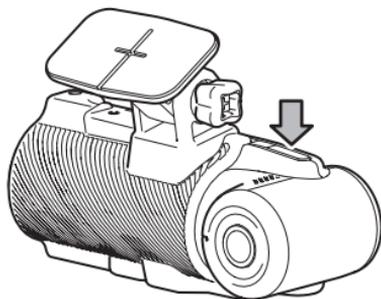
端末を長期間使わない場合や、microSD カードを交換する場合は、端末の電源をオフにしてください。

1 お車のエンジンを切ります

端末のステータス LED が消灯し、液晶モニターのバックライトが消灯するとスリープ状態に入ります。この状態ではまだ端末の電源はオフになっていないため、microSD カードトレイの抜き差しなどは行わないでください。

2 電源ボタンを押します (短押し)

バッテリーモードで起動します。



端末の使い方

3 電源ボタンを 2 秒以上押し続けます

4 [はい] をタップします

シャットダウン中の画面に遷移し、画面が消えますが、お客様のご使用状況により内部処理が継続している場合があります。microSD カードトレイの抜き差しを行う場合は、画面が消えてから 10 秒以上お待ちいただいた後、行ってください。



ドライブレコーダー機能（映像記録機能）

ドライブレコーダー機能（映像記録機能）について

端末のカメラで撮影したお車前方および車内の録画映像を、microSDカードに保存できます。ただし、保存された録画映像は端末やパソコンなどでは再生できません。

録画映像は次の2通りあります。

● イベント録画

お車が衝突した際の衝撃や急アクセル、急ブレーキ、急ハンドルといった危険運転を検知した時点の6秒前から4秒後までの状況を自動で録画します。

● 常時録画

お車のエンジンをかけて数十秒後からエンジンを切るまで（端末の電源オンからスリープ状態（→P.21）まで）の間の状況を常に録画します。

メモ

- microSDカードに保存できるイベント録画の映像は最大50件です。保存されたイベント録画映像が最大件数を超えると、古いイベント録画映像から順に上書きします。
- 一部のイベント録画に関しては、microSDカードに保存できないときに、端末内部のメモリーに保存します（フェールセーフ録画）。10件保存できますが、上限を超えた場合は古い録画映像から順に上書きされます。端末内部のメモリーに記録された映像は、新しいmicroSDカードを挿入すると、microSDカード側に書き出されます。
- 常時録画された映像が、microSDカードへの保存可能領域の上限に達すると、古い録画映像から順に上書きします。

ドライブレコーダー機能に関するご注意

- 走行中は安全性の観点から画面に映像が映らない仕様になっております。
- 次のような場合、録画を開始することができなかったり、録画が中断されることがあります。
 - － 撮影範囲確認（→P.43）のためカメラ映像を表示しているとき
 - － microSD カードが入っていなかったり、microSD カードに異常が発生したとき
 - － 端末のアップデートを行っているとき
 - － 端末の温度が上昇し、システムの保護のため自動で電源オフしたとき
 - － 電源ボタンを長押しして再起動したとき
- 市販の microSD カードを利用するときは、16 GB 以上の空き容量があるか確認してください。16 GB 以上の空き容量がある microSD カードを取り付けないと、映像を録画できないことがあります。
- microSD カードは消耗品です。普通に使用していても正常に書き込みや消去などの動作をしなくなる場合があります。「microSD カードの異常を検知しました。一度エンジンを切り、microSD カードを抜き差ししてください。」のメッセージの表示が繰り返される場合には、端末の電源をオフにして（→P.23）トレイの抜き差しを実施してください。それでもメッセージ表示が繰り返される場合には販売店にご連絡ください。
- microSD カードは定期的に初期化することをお勧めします。microSD カードを初期化すると、録画した映像ファイルなど microSD カードに記録されたデータがすべて消失します。必ず記録されたデータのバックアップを作成してから、microSD カードを初期化してください。
- microSD カードの消耗に起因する故障または損傷については、製造元は一切の責任を負いません。
- 端末で録画した映像を取り扱う際は、被写体のプライバシーなどを侵害しないよう十分にご配慮ください。また、お客様の責任でお取り扱いください。
- 端末はすべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- 端末が記録した映像やデータは、事故の証拠として効力を保証するものではありません。
- LED 式信号機を撮影すると、信号機が点滅しているように撮影されたり、ちらついたりする場合があります。
- 道路の段差を越えるときに生じる振動を、衝撃として検知し、イベント録画を行う場合があります。

- 重大事故による端末損傷など、お車だけでなく内蔵バッテリーからの電源も断たれた場合、録画できません。また、microSD カード内に記録されているデータが破損してしまう可能性があります。
- 破損したデータや消去したデータの復元サービスは行っておりません。
- 端末の故障や端末使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの損傷、破損による損害については、提供元および製造元は一切その責任を負いません。
- 端末などの破損、故障が生じた場合や、盗難・紛失に遭われた際は、速やかに販売店へご連絡ください。

録画された映像の取り扱いについて

- ドライブレコーダー機能で録画された映像は独自形式の映像ファイルとして microSD カードに保存されます。
- microSD カードと常時録画における最大録画時間の参考値は次のとおりです。

microSD カード容量 (GB)	録画時間
32GB	約 9.7時間
128GB	約 40.9時間
256GB	約 82.5時間

上記値は目安で、絶対保証値ではありません。

周囲の景色や明るさ、運転の状態によって異なります。

- microSD カード内の映像ファイルの保存先は次のとおりです。

イベント録画

メインカメラ：Movies\DriveRecorder\DrvRec\EvtRec\Main

サブカメラ：Movies\DriveRecorder\DrvRec\EvtRec\Sub

常時録画

メインカメラ：Movies\DriveRecorder\DrvRec\RegRec\Main

サブカメラ：Movies\DriveRecorder\DrvRec\RegRec\Sub

- 映像処理中のファイル（拡張子が「.tmp」）や管理用のファイルが、microSD カードの中に残ることがあります。それらのファイルを移動、削除はしないでください。

ドライブサポート機能

端末のメインカメラで撮影した映像を解析し、危険な運転を行っているときに画像や音声メッセージと警告音などで注意喚起します。

本機能はメインカメラからの画像情報を用いて判断をするため、端末の取り付けおよび設定の状況や走行環境（天候、時間帯や道路状況など）の影響により、正しく動作しない場合があります。

そのため、必ずお客様の目で周囲の状況を把握し、安全を確認しながら運転してください。

ドライブサポート機能を正しく機能させるため、ご利用になる前に以下をご確認ください。

- 端末の取り付けおよび設定を適切に行ってください。詳しくは→**取付説明書の「端末の取り付け方」**をご覧ください。

- 取り付け指定位置に取り付けてください。（たとえばワイパーの拭取り範囲外などでは降雨時に機能が正しく動作しない原因となる可能性があります）

- 撮影範囲確認をする画面中央の十字マークをお客様のお車の前方中央に合わせ、お車を平らな場所へ停車させた状態で、画面左側と下部の2か所の緑色の範囲に白いバーが入る位置・角度で取り付けてください。[各種設定]から確認・調整することもできます。（→P.41、P.43）

- 地上から端末のメインカメラレンズまでの高さを正しく設定してください。[各種設定]から確認・調整することもできます。（→P.41、P.44）

- フロントガラスの中心から端末のメインカメラレンズまでの距離を正しく設定してください。[各種設定]から確認・調整することもできます。（→P.41、P.44）

- 端末を取り付けた直後や端末の向きや角度を変えて走行したときには、消失点学習を行います。

消失点学習の完了には、両側に白線もしくは黄線のある道路を実際に走行して頂く必要があります。消失点学習完了までに必要な時間は走行時の環境によって異なりますが、およそ5～6分で完了します。

それでも正しく動作しない場合は、消失点学習を初期化してから再度消失点学習を行ってください。（→P.41、P.44）

- ダッシュボード上には明るい色のものを置かないでください。ダッシュボード上に明るい色のものを置くと、フロントガラスに反射してカメラ映像に写り込み、誤認識の原因となる場合があります。

レーンキープサポート機能について

運転中に走行レーンを認識することでお車の片寄り走行を検知し、注意喚起します。



メモ

- レーンキープサポート機能は、約 50 km/h 以上で運転中に、お車が約 3 秒間以上左右のどちらかに片寄って走行していると端末が判断したときに注意喚起を行います*。
 - 一度注意喚起が行われると、約 30 秒間が経過するまで次の注意喚起を行いません*。
 - 本機能は、走行レーンの両側に白線もしくは黄線がある場合に、動作可能です。
- * 端末の動作状況によっては上記のとおりにならない場合もあります。

レーンキープサポート機能に関するご注意

- レーンキープサポート機能は以下の場合、動作しません。
 - － ステータス LED が消灯もしくは緑点滅の場合 (→ P.17)
 - ・ ドライブレコーダーの設定を行う画面の表示中 (→ P.37)
 - ・ バッテリーモード (ACC OFF) 時 など
 - － トンネルの中など GPS を受信していない場合 (→ P.11)
 - － お車が約 50 km/h 未満で走行中の場合
 - － お車のご利用状態により端末の温度が上昇した場合
- 以下のような状況では、レーンキープサポート機能が正しく動作しない場合があります。
 - ①メインカメラがレーンキープサポート機能に必要な情報を撮影できない場合
 - － 走行レーンの左右にある白線もしくは黄線が、両側または片側に無い場合
 - － 走行レーンの左右にある白線もしくは黄線が、かすれて見えにくい場合
 - － 強い光や陰、暗い所、対向車のヘッドライトなど、光の加減により、白線を正しく検知できない場合
 - － 天候（雨、雪、濃霧など）やお車の走行環境（道路の起伏が激しい場合など）により、白線を正しく検知できない場合
 - ②メインカメラに誤認識する物が写っている場合
 - － 車内にある備品、フロントガラスへの貼付物などが映像に写り込んでいる場合
 - ③メインカメラが認識するべき対象物に急な変化が生じる場合
 - － 急カーブ、交差点、合流、分岐、車線減少、車線増加など、走行レーンの幅に急激な変化があるなどの場合

前方車両接近警告機能について

運転中に同一走行レーンの前方車両を認識することでお車との距離が接近したことを検知し、注意喚起します。

注意喚起がされないように適切な車間距離を保って運転していただくことで、安全運転にお役立ていただくことができます。

注意喚起後のブレーキ操作により衝突を回避・軽減することを主な目的とした機能ではありません。また、前方衝突事故の防止を保証するものではありません。また、すべての危険を警告するものではありません。



メモ

- 前方車両接近警告機能は、端末が検知する走行速度が約 30 km/h 未満では動作しません*。
 - 一度注意喚起が行われると、約 10 秒間が経過するまで次の注意喚起を行いません*。
 - 前方を走る二輪車の認識・接近警告は本機能の対象外です。
 - 本機能は GPS から取得される速度を用いているため、実際の走行速度と最大で 1 秒程度の遅延が生じます。すでに減速するなど衝突のおそれが減少した場合でも、タイミングがずれて注意喚起する場合があります。
- * 端末の動作状況によっては上記のとおりにならない場合もあります。

前方車両接近警告機能に関するご注意

- 前方車両接近警告機能は以下の場合、動作しません。
 - － ステータス LED が消灯もしくは緑点滅の場合 (→ P.17)
 - ・ ドライブレコーダーの設定を行う画面の表示中 (→ P.37)
 - ・ バッテリーモード (ACC OFF) 時 など
 - － トンネルの中など GPS を受信していない場合 (→ P.11)
 - － 端末の取り付け高さが 100 cm ~ 200 cm の範囲に設定されていない場合 (→ P.44)
 - － お車が約 30 km/h 未満で走行中の場合
 - － お車が減速中の場合
 - － お車のご利用状態により端末の温度が上昇した場合
- 以下のような状況では、前方車両接近警告機能が正しく動作しない場合があります。
 - ① 端末の取り付け高さが 100 cm ~ 200 cm の範囲に取り付けられていない場合
 - ② メインカメラが前方車両接近警告に必要な情報を撮影できない場合
 - － 走行する道路の左右に白線もしくは黄線がなかったり、境目がはっきりせず、道路を正しく検知できない場合
 - － 前方車両の形状や色が前方車両として検知できない場合
 - － 強い光や陰、暗い所、対向車のヘッドライトなど、光の加減により、前方車両を正しく検知できない場合
 - － 天候 (雨、雪、濃霧など) やお車の走行環境 (道路の起伏が激しい場合など) により、前方車両を正しく検知できない場合
 - ③ メインカメラに誤認識する物が写っている場合
 - － 隣の走行レーンの車両が写っている場合
 - － 道路脇の物体や道路上の影が写っている場合
 - － 車内にある備品、フロントガラスへの貼付物などが映像に写り込んでいる場合
 - ④ メインカメラが認識するべき対象物に急な変化が生じる場合
 - － お車の前方に車が割り込んだ場合
 - － お車が走行レーンの変更をしている場合
 - － 急カーブ、交差点、合流、分岐、車線減少、車線増加など、前方車両を正しく検知できない場合

ドライバーモニタリング機能

端末のサブカメラで撮影した映像を解析し、リスクがあると端末が判断すると、画像や音声メッセージと警告音などで注意喚起します。

本機能はサブカメラからの画像情報を用いて判断をするため、端末の取り付けおよび設定の状況により、正しく動作しない場合があります。

ドライバーモニタリング機能を正しく機能させるため、ご利用になる前に以下をご確認ください。

- 必ず運転者がサブカメラに写る取り付け指定位置に端末を取り付け（→ 取付説明書の「端末の取り付け方」）、適切な設定を行ってください。（→ P.44）

眠気検知機能について

運転中、ドライバーに眠気のリスクがあると端末が判断すると、画面表示と警告音などで運転者に注意を促します。



メモ

- 画面表示は、約 4 秒後に元の画面に戻ります。
- 一度注意喚起が行われると、約 1 分経過するまで次の注意喚起を行いません*。

* 端末の動作状況によっては上記のとおりにならない場合もあります。

わき見検知機能について

端末が運転中のドライバーにわき見のリスクがあると判断した場合に、画面表示と警告音などで運転者に注意を促します。



メモ

- 画面表示は、約 4 秒後に元の画面に戻ります。
- 一度注意喚起が行われると、約 20 秒間が経過するまで次の注意喚起を行いません*。
- * 端末の動作状況によっては上記のとおりにならない場合もあります。

ドライバーモニタリング機能に関するご注意

- ドライバーモニタリング機能は以下の場合、動作しません。
 - － ステータス LED が消灯もしくは緑点滅の場合 (→ P.17)
 - ・ ドライブレコーダーの設定を行う画面の表示中 (→ P.37)
 - ・ バッテリーモード (ACC OFF) 時 など
- － お車が停車している、または徐行している場合 (眠気検知機能は停車後数分間は有効です)
- － お車のご利用状態により端末の温度が上昇した場合
- － 運転者がマスクやサングラスを使用しているとき
- 以下のような状況では、ドライバーモニタリング機能が正しく動作しない場合があります。
 - ① サブカメラに誤認識する物が写っている場合
 - － 車内にある備品などが映像に写り込んでいる場合
 - ② サブカメラが認識するべき対象物に急な変化が生じる場合
 - ③ 強い光や陰、暗い所、対向車のヘッドライトなど、光の加減により、運転者の顔を正しく検知できない場合
 - ④ お車の走行環境 (道路の起伏が激しい場合など) により、運転者の顔を正しく検知できない場合

危険運転警告機能

端末が危険運転を検知した際、画面表示と警告音などで注意喚起します。



メモ

- 画面表示は、約 4 秒後に元の画面に戻ります。
- 危険運転を検知した時点の映像はイベント録画として録画されます。
- 危険運転と判断されるのは、急アクセル、急ブレーキ、急ハンドルです。

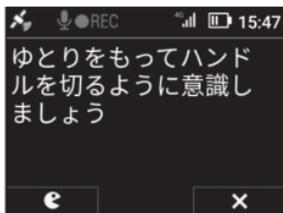
Intelligent Pilot

Intelligent Pilot は、事故多発地点、ヒヤリハット地点などのプローブデータ、天候・時間帯、そのドライバーの運転傾向から統合的に事故や危険を予測し、現在の状況に合わせて注意喚起と警告をする先進的な運転支援システムです。

ユア メッセージ

端末の起動時に、これまでの運転傾向を診断し、その運転特性に合わせた安全運転を促す音声メッセージと画面表示を行います。

<ユア メッセージ例>



メモ

- 使用開始から累積走行距離が 10 km を超えるまでは、画面の表示および音声メッセージは流れません。

ユア アラート

運転中の天候・時間帯およびお客様の運転状況（走行速度・過去の運転特性）をもとに、リアルタイムに事故リスクの高い地点を予測し、音声メッセージと画面表示により注意喚起を行います。

<ユア アラート例>



メモ

- 過去の運転特性は、直近約 100 km の走行をもとに算出しております。累積走行距離が約 100 km 以下の場合は、運転傾向の蓄積を行います。

ユア アラートに関するご注意

- ユア アラートは以下の場合、動作しません。
 - － 通信圏外の場合
 - － トンネルの中など GPS を受信していない場合（→ P.11）

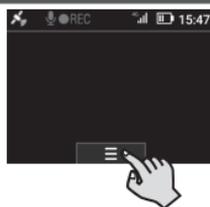
ドライブレコーダーの設定

端末に関する設定をします。

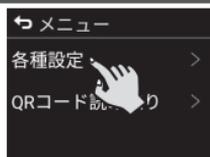
- 必ず安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてから操作してください。
- 設定画面表示中は、画面により録画機能が停止しますのでご注意ください。
- ユーザー権限または管理者権限で、設定できる項目は異なります。詳しくは販売店にお問い合わせください。

システム設定画面を表示する

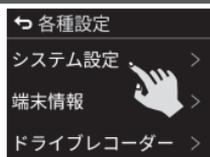
1 [☰] をタップします



2 [各種設定] をタップします



3 [システム設定] をタップします



Wi-Fi 接続を設定する

現在のサービスでは使用していません。

- 1** システム設定画面を表示して
(→P.37)、[Wi-Fi設定]をタップ
します



- 2** [Wi-Fi 接続] をタップします



- 3** [ON] をタップします



- 4** [ネットワークを選択] をタップしま
す

接続可能なネットワークを検索します。



- 5** 検索結果から接続したいネットワー
クをタップします

すでに接続したことのあるネットワー
クを選んだときは、[確認]をタップして設
定を終了します。

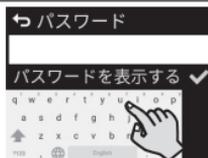
初めて接続するネットワークは手順6に
進みます。



6

Wi-Fi パスワードを入力します

パスワードの入力が不要のときは、そのまま手順 7 に進みます。



7

ネットワークが登録されたら [×] をタップします**メモ**

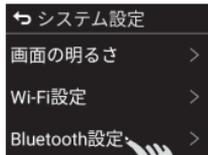
- WPS プッシュボタンや WPS PIN 入力でもネットワークを登録できます。
(→ P.42)

ネットワークへの接続
が完了しました。
[Link ID iPhone]

**Bluetooth 接続を設定する**

現在のサービスでは使用していません。

1

システム設定画面を表示して (→ P.37)、[Bluetooth 設定] をタップします

2

[Bluetooth 接続] をタップします

3

[ON] をタップします

4

[使用可能デバイス]をタップします

すでに接続したことのある機器のときは、[登録済みデバイス]－[接続する]－[×]の順にタップして設定を終了します。



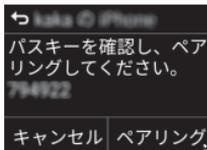
5

接続したい機器をタップします

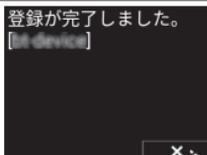
6

[ペアリング]をタップします

接続する Bluetooth 機器によっては、ペアリングコードの入力が必要なことがあります。

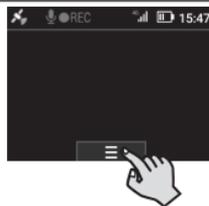


7

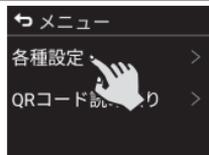
Bluetooth 機器が登録されたら [×]をタップします

各種設定を変更する

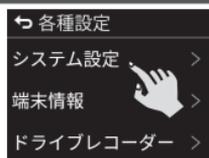
1 [☰] をタップします



2 [各種設定] をタップします



3 変更したい項目をタップします
ひとつ前の画面に戻るには [←] をタップします。



4 設定値を選んでタップします



ドライブレコーダーの設定

5

画面にしたがって [決定] / [確認] / [×]などをタップします

設定を終了するときには、ホーム画面に戻るまで [戻る] をタップします。



設定項目一覧

太字はお買い上げ時の設定値です。

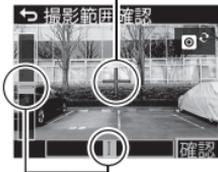
システム設定

設定項目	設定内容	設定値
画面の明るさ		
明るさ設定	液晶モニターの明るさを設定します。	[1] / [2] / [3] / [4] / [5]
Wi-Fi 設定		
Wi-Fi 接続	Wi-Fi 接続を使用するときは [ON] にします。	[ON] / [OFF]
保存済み登録情報	端末に保存された登録情報のリストが表示されます。登録情報を選ぶと削除 / ロック / ロック解除の操作ができます。	
ネットワークを選択	Wi-Fi 接続先のネットワークを選びます。(→ P.38)	
WPS ボタン	ルーターの WPS プッシュボタンを押して、ネットワークを登録するときに選びます。	
WPS PIN 入力	ルーターで PIN コードを入力して、ネットワークを登録するときに選びます。端末の PIN コードが表示されます。	
Bluetooth 設定		
Bluetooth 接続	Bluetooth 接続を使用するときは [ON] にします。	[ON] / [OFF]
使用可能デバイス	Bluetooth 機器を接続 / 登録します。(→ P.39)	
登録済みデバイス	ペアリングされた Bluetooth 機器のリストが表示されます。機器を選ぶと接続 / 登録解除の操作ができます。	
端末の名前を変更	端末の名前を変更したいときに選びます。最大 32 桁の英数字および記号を入力します。	TMX-DM03

端末情報

表示項目	表示内容
測位状態	GPS 測位の状態、および使用している衛星の数と実際に受信している衛星の数を表示します。
SIM ステータス表示	ネットワーク、電波強度、モバイルネットワークの種類、サービスの状態、ローミング、モバイルネットワークの状態を表示します。
SIM 情報	電話番号、ICCID を表示します。
IMEI 番号	端末の識別番号 (IMEI 番号) を表示します。
法的情報	
ライセンス情報	端末に使われているソフトウェアの利用許諾 (ライセンス) を表示します。
認証情報	認証情報を表示します。
バージョン情報	バージョン情報を表示します。

ドライブレコーダー

設定項目	設定内容	設定値
撮影範囲確認	<p>画面中央の十字マークがお客様の車の前方中央に合っていること、2 箇所の緑色の範囲に白いバーが入っていることを確認します。</p> <p>十字マークおよび画面左の白いバーが上下にずれている場合は、端末固定ネジを緩めて角度を調整してください。十字マークおよび画面下の白いバーが左右にずれている場合は、端末を取り付け直す必要があります。→取付説明書の「端末の付け替えについて」をご覧ください。</p> <div style="text-align: center;"> <p>十字マーク</p>  </div> <p>お車を平らな場所へ停車した状態で、白いバーが緑色の範囲に入るように調整してください。</p> <p>調整が終わったら [確認] をタップします。</p>	

ドライブサポート

設定項目	設定内容	設定値
端末取付け高さ	[-] / [+] をタップして、地面から端末のメインカメラレンズまでの高さを設定します。設定が終わったら [決定] をタップします。	100 cm ~ 140 cm ~ 350 cm
端末取付け位置	[←] / [→] をタップして、フロントガラスの中心から端末のメインカメラレンズまでの距離を設定します。左右については車内から見てフロントガラスの中心からどちらにあるかで設定します。設定が終わったら [決定] をタップします。	左 99 cm ~ 0 cm ~ 右 99 cm
消失点学習初期化	消失点とは、風景や直線の道路などが遠くになるほど小さくなり、やがては点に収束してしまう点のことで、レーンキープサポート機能では走行レーン、前方車両接近警告機能では前方車両を認識するために利用しています。 	

レーンキープサポート機能や前方車両接近警告機能が正しく動作しない場合は、消失点学習を初期化したのち、しばらく走行して再学習させてください。

ドライバーモニタリング

ドライバーモニタリング機能を使うときは、必ず運転者の顔がサブカメラに写る位置に取り付けてください。詳しくは、取付説明書を参照してください。

設定項目	設定内容	設定値
ドライバー座席指定	運転者の座席を選びます。	[左ハンドル] / [右ハンドル]

端末をアップデートする

端末起動時に、自動的に通信を利用したアップデートデータの確認が行われます。アップデートデータがある場合は、自動的にダウンロードが行われ、次回端末起動時にアップデートを行います。



メモ

- アップデート完了後に、端末が自動で再起動します。
- 通信圏外にいるときは、アップデートデータのダウンロードは行われません。
- アップデート状況は、「ホーム画面」上部のステータスバーに表示されるアイコンで確認できます。(→ P. 15)
- アップデート時に端末が複数回再起動することがあります。アップデート動作が終わるまで操作せずお待ちください。
- アップデートには数分かかることがあります*。アップデート中は、映像記録などの機能がご利用いただけません。
可能であれば、お車を安全な場所に停車し、エンジンを切らずにお待ちください。
*アップデート時間はアップデート内容により異なります。

よくあるお問い合わせ (FAQ)

Q 端末の通信機能や映像記録機能などが正常に機能しているか確認する方法はありますか？

A 「ホーム画面」に表示されるステータスバーのアイコンでご確認ください。(→P.15)

Q すべての衝撃がイベント録画されるのですか？

A 端末が衝撃を検知したときに録画します。ただし、以下のような車以外との接触など、衝撃が小さいときは検知できないことがあります。

- 駐車場で人と接触
- 駐車場入り口で自転車と接触

Q 映像を確認する方法はありますか？

A microSD カードをパソコンに挿入し、記録された映像を専用ビューアで再生することができます。ただし、端末上で映像を再生することはできません。

Q microSD カードをテレビのカードスロットに挿しても映像が見られません。

A microSD カードに記録した映像は、一般の家電製品やパソコンでは再生できません。

Q 端末、シガーライター電源ケーブル、microSD カードなどの破損・故障が生じた場合や、盗難・紛失があった場合、どうすればいいですか？

A 販売店にご連絡ください。

故障かな?と思ったら

販売店に連絡する前に、電源が入る場合は以下の操作を行ってください。
一度お車のエンジンを切って、再度エンジンをかけてください。
それでも解決されない場合、以下をご確認ください。

症状 エラーメッセージ「●●」が表示されます。

処置 →P.50の「エラーメッセージ」をご確認ください。

症状 端末の電源が入りません。

処置 お車のシガーライターにシガーライター電源ケーブルがきちんと接続できているか、および端末のマイクロUSB電源端子にシガーライター電源ケーブルのマイクロUSB端子が奥まで挿し込まれているか、ご確認ください。また、シガーライター電源ケーブルの給電インジケータの点灯状態もご確認ください。接続に問題がなく、給電インジケータも点灯しているのに端末が起動しない場合もしくは接続に問題がないのに給電インジケータが点灯していない場合は、販売店にご連絡ください。

症状 端末の表示や動作がおかしくなりました。

電源がオンの状態で、電源ボタンを15秒以上押し続けてください。端末がリセットされます。

症状 映像がはっきり映りません。

処置 フロントガラスやカメラに汚れがないか確認し、汚れがある場合は柔らかい布などで拭き取ってください。ダッシュボードが写り込んでいる場合は、端末の角度を調整（→取付説明書の「端末の取り付け方」）してください。それでも解決しない場合は、販売店にご連絡ください。

症状 エンジンを切っても電源が切れません。

処置 エンジンを切っても、端末がスリープ状態にならない車種の場合、端末を使用しないときは必ずシガーライター電源ケーブルを車のシガーソケットまたはアクセサリソケットから抜いてください。抜き忘れると車のバッテリー上がりの原因になります。

困ったときは

症状 運転中に突然端末が再起動してしまいました。

処置 シガーライター電源ケーブルの接触不良により再起動することがあります。お車のシガーライターにシガーライター電源ケーブルがきちんと接続できているか、および端末のマイクロ USB 電源端子にシガーライター電源ケーブルのマイクロ USB 端子が奥まで挿し込まれているか、ご確認ください。

症状 端末の電源がたびたび切れます。

処置 端末の内蔵バッテリーの温度が上昇すると、システムの保護のため自動で電源が切れることがあります。端末の温度が低くなった状態で再度エンジンをかけていただくと、元の状態で動作します。端末の温度が低くても電源が切れるときは、故障の可能性がありますので販売店にご連絡ください。

症状 頻繁に危険運転警告音が鳴ったりします。

処置 端末固定ネジが緩くないかなど、端末がぐらついていないかご確認ください。それでも解決しない場合には、販売店にご連絡ください。

症状 片寄り走行警告が頻繁に鳴る、またはまったく鳴りません。

処置 端末が正しく取り付けられているか確認してください。端末取り付け高さ・位置を正しく設定し、消失点学習初期化（→P.44）を行ってください（消失点学習リセット後、消失点学習のためにしばらく運転する必要があります）。また、カメラに汚れ・傷・遮蔽物がないか確認し、汚れや遮蔽物がある場合は拭き取ってください。傷がある場合、もしくは上記の処置でも解決しない場合には、販売店にご連絡ください。

症状 オープニング画面が繰り返し表示されます。

処置 端末を長期間ご使用にならなかった場合、起動に必要な程度の充電を行う必要がありますので、エンジンをかけてしばらくお待ちください。それでも解決しない場合には、販売店にご連絡ください。

症状 映像が記録されていません。

処置 衝撃が小さい場合はイベント録画には記録されません。

また、以下のケースでは映像が記録されません。

ケース 1：端末が起動していない場合

もし事故の瞬間、エンジンがかかっていたにも関わらず記録されていない場合は、端末に正しく給電されていない可能性があります。シガーライター電源ケーブルがきちんと接続できているかをご確認ください。また、エンジンをかけたときに、シガーライター電源ケーブルの給電インジケータが緑点灯になり、端末のステータス LED が赤点灯になることをご確認ください。点灯しない場合は端末の故障の可能性がありますので、販売店にご連絡ください。

ケース 2：microSD カードに異常がある、または接触不良の場合
この場合、起動時に毎回エラーメッセージが表示されますので、表示に従って microSD カードを抜き差しし、それでも解決しない場合は販売店にご連絡ください。

ケース 3：ケース 1、2 にあてはまらない場合

上記ケース 1、2 にあてはまらない場合、販売店にご連絡ください。

ケース 4：端末の明るさを調整している場合や、撮影範囲確認をしている場合

この場合は映像が撮れませんので、映像確認および端末の取り付けは安全な場所で行ってください。

症状 音声記録されていません。

処置 端末の故障の可能性がありますので、販売店にご連絡ください。

困ったときは

エラーメッセージ

ご利用中にエラーメッセージが出た場合は下記をご確認ください。それでも解決しない場合は販売店にご連絡ください。

端末を起動したとき

「端末が正しく取り付けられていない可能性があります。端末の向きを変え、緑色の範囲内に白いバーが入るように角度を調整してください。」

原因 取り付けられた端末の向きが正しくない可能性があります。

処置 十字マークおよび画面左の白いバーが上下にずれている場合は、端末固定ネジを緩めて角度を調整してください。十字マークおよび画面下の白いバーが左右にずれている場合は、端末を取り付け直す必要があります。→取付説明書の「端末の付け替えについて」をご覧ください。

「給電が検知できないため、サービスを開始できませんでした。ケーブルのプラグをシガーソケットに挿してください。」

原因 端末にシガーライター電源ケーブルから給電されていません。

処置 シガーライター電源ケーブルの接続状態をご確認ください。または、エンジンを切った状態で電源ボタンを押したことにより、端末が内蔵バッテリーで起動している可能性があります。その場合は、再度電源ボタンを押すことで端末をスリープさせてください。

「microSD カードが検知できませんでした。microSD カードを挿入してください。」

「SIM カードが検知できませんでした。SIM カードを挿入してください。」

原因 端末に microSD カードまたは nanoSIM カードが挿入されていません。

処置 端末に microSD カードまたは nanoSIM カードを挿入してください。

「バッテリー交換時期になりました。販売店にご連絡ください。」

原因 バッテリーが劣化しています。

処置 販売店にご相談ください。

「SIMカードが検知できませんでした。SIMカードを挿入してください。」
「SIMカードの異常を検知しました。お買い上げの販売店にお問い合わせください。」

原因 nanoSIMカードが挿入されていないか、認識されていません。

処置 一度お車のエンジンを切って端末の電源をオフ（→P.23）にした後、microSDカードトレイに正しい向きでnanoSIMカードが装着されていることをご確認ください。nanoSIMカードを正しく装着してmicroSDカードトレイを端末に差し込み、再度エンジンをかけても解決しない場合は販売店にご連絡ください。

「microSDカードの異常を検知しました。一度エンジンを切り、microSDカードを抜き差ししてください。microSDカードの異常を検知し続ける場合は販売店にご連絡ください。」

原因 microSDカードの接触不良かmicroSDカードが消耗しています。

処置 一度お車のエンジンを切って端末の電源をオフ（→P.23）にした後、端末のmicroSDカードトレイを抜き差ししてください。再度エンジンをかけても解決しない場合は販売店にご連絡ください。

「microSDカードが検知できませんでした。microSDカードを挿入してください。」

原因 microSDカードが挿入されていないか、認識されていません。

処置 端末のmicroSDカードトレイに正しい向きでmicroSDカードが装着されていることをご確認ください。挿入されている場合には、販売店にご連絡ください。

「PC接続中は、サービスをご利用できません。」

原因 端末がパソコンに接続されています。

処置 端末をパソコンに接続しないようお願いいたします。

「システムエラーが発生したため、カメラを使用することができません。」

原因 カメラの故障の可能性があります。

処置 一度お車のエンジンを切ってスリープ状態にした後、再度エンジンを掛けて端末を起動させてください。それでも改善しない場合は、電源ボタンを 15 秒以上長押しし端末を再起動してください。それでも改善しない場合は、端末の交換が必要となりますので、販売店にご連絡ください。

「microSD カードの容量が小さいため、録画を開始できませんでした。容量の大きなカードをご使用ください。」

原因 16 GB 未満の microSD カードが挿入されているため、録画を開始できませんでした。

処置 16 GB 未満の microSD カードには対応しておりません。16 GB ~ 512 GB の microSD カードをご使用ください。

ドライブレコーダー機能を利用しているとき

「microSD カードが挿入されていないため録画を開始できませんでした。microSD カードを確認してください。」

原因 microSD カードが挿入されていません。

処置 microSD カードスロットに microSD カードが挿入されていることを確認してください。

「〇〇〇は応答していません」

メモ

- 「〇〇〇」の文言は症状により変わります。
例：「ドライブレコーダー」、「QRコード読み取り」など。

原因 ドライブレコーダーの機能が動作していない可能性があります。

処置 一度お車のエンジンを切ってスリープ状態にした後、再度エンジンを掛けて端末を起動させてください。それでも改善しない場合は、電源ボタンを 15 秒以上長押しし端末を再起動してください。それでも改善しない場合は、端末の交換が必要となりますので、販売店にご連絡ください。

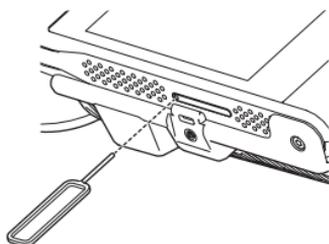
microSD カード / nanoSIM カードの交換について

メモ

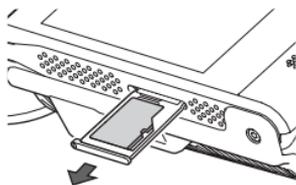
- 端末は 16 GB ~ 512 GB までの microSD カードに対応しています。

1 お車のエンジンを切り、端末の電源をオフにします (→ P.23)

2 microSD カードトレイの穴に、
端末に付属のピンを差し込みます
microSD カードトレイが出てきます。



3 microSD カードトレイを引き抜きます



⚠ 注意

- トレイを引き抜くときは、microSD カードと nanoSIM カードが落下しやすいので気を付けてください。
- 端末正面（液晶モニターのある面）を上にして作業しないと、microSD カードや nanoSIM カードが落下、紛失、破損する可能性があります。

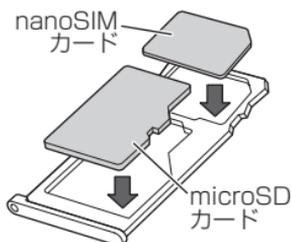
困ったときは

付録

4

新しい microSD カード / nanoSIM カードに交換します

端子のある面を下側にして装着してください。

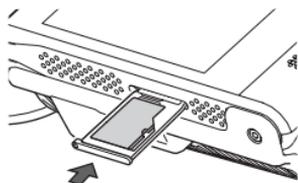


⚠ 注意

- 取り外した microSD カード / nanoSIM カードは、専用ケースに入れるなどして、保管してください。また、誤ってお子様が飲み込むなどのことがないように、保管場所にもご配慮ください。
- microSD カード / nanoSIM カードの端子部分には触れないでください。接触不良の原因になります。

5

microSD カードトレイを端末に差し込みます



6

端末の電源をオンにします

→ P.19 の「サービスの開始から終了まで」

✍ メモ

- microSD カードは、初期化が必要なことがあります。
- nanoSIM カードは、APN 設定が必要なことがあります。

充電式バッテリーリサイクル ご協力をお願い

端末には、リチウムイオンバッテリーを使用しております。リチウムイオンバッテリーはリサイクル可能な貴重な資源です。（リチウムイオンバッテリーの交換および）ご使用済み製品の廃棄に際しては、販売元へご連絡ください。

主な仕様

共通部

使用電圧	-----DC 5 V (付属のシガーライター電源ケーブル接続時)
最大消費電流	-----1.5 A
使用温度範囲	----- - 10 °C ~ + 60 °C (バッテリー動作を除く)

液晶モニター部

画面サイズ	-----2.4 インチ
画素数	-----水平 320 × 垂直 240
方式	-----TFT アクティブマトリクス方式
バックライト	-----LED 光源

カメラ部 (メイン/サブ)

映像素子	-----カラー CMOS センサー 1/2.8 インチ (サブカメラの録画映像は白黒になります)
画素数	-----有効画素 約 200 万画素 (サブカメラの画質は HD 画質になります)
レンズ	-----焦点距離 f=2.725 mm F 値 2
画角	-----水平 130° / 垂直 67° / 対角 158°

マイク部

マイク	-----3 個
-----	----------

スピーカー部

スピーカー	-----1 個
-------	----------

microSD カード部

SPEED CLASS	-----Class 4 / 6 / 10
対応メモリ容量	-----microSDHC 16 GB ~ 32 GB microSDXC ~ 512 GB
ファイルシステム	-----FAT32/exFAT

GNSS 部

GPS、QZSS、GLONASS、Beidou、Galileo	-----30 チャンネル マルチチャンネル受信方式
アンテナ	-----本体内蔵

LTE/3G 部

データ通信方式	-----UMTS/HSPA/HSPA + : バンド 1、19 LTE : バンド 1、3、18、19、28
---------	--

Wi-Fi 部*

ワイヤレス準拠規格	IEEE 802.11b/g/n
変調方式	OFDM/DSSS/CCK
チャンネル	1 ~ 13 チャンネル
セキュリティ	OPEN、WPA、WPA2、WEP
使用周波数帯域	2.4 GHz

Bluetooth 部*

Bluetooth バージョン	Bluetooth 4.2
プロファイル	SPP、GATT
出力	Power class 1

バッテリー部

リチウムイオンバッテリー	容量：750 mAh
--------------	------------

外形寸法

本体	128 (W) mm × 57 (H) mm × 53 (D) mm
----	------------------------------------

質量

本体	約 200 g
----	---------

シガーライター電源ケーブル

入力電圧	DC 12 V ~ 24 V
出力電圧	DC 5 V
最大出力電流	2.1 A
ケーブル長	5 m

付属品

シガーライター電源ケーブル	1
microSDHC カード	1
アルコールクリーナー	1
SD カードアダプタ	1
microSD カードトレイ用ピン	1
取付説明書	1

付
録

* 現在のサービスでは使用していません。

電波に関するご注意

端末は、電気通信事業法および電波法に基づく設計認証を取得しています。また、VCCI 自主規制措置運用規程に基づく技術基準に適合したマークを画面に電子的に表示しています。取得した設計認証番号およびマークは [認証情報] で確認できます。(→ P.41、P.43)

● 端末は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として、技術基準適合証明を受けています。したがって端末を使用するとき無線局の免許は必要ありません。また端末は日本国内のみで使用できます。

● 下記の事項を行うと法律で罰せられることがあります。

* 分解 / 改造すること。

● 端末の無線機能は、2.4 GHz の周波数帯の電波を利用しています。この周波数帯の電波はいろいろな機器（電子レンジ、無線 LAN 機器など）が使用していますので、電波の干渉により、端末の無線機能の音声がとぎれたり聞きとりにくくなる場合があります。また、他の機器の動作や性能に影響を及ぼす場合があります。端末は電波干渉の影響を受けにくい方式ですが、下記の内容に注意してください。

* 無線 LAN を利用した AV 機器・防犯機器などを使用している環境で、端末の無線機能を使うと、音声がとぎれたり、無線 LAN 機器の動作に大きな影響を与えることがあります。

● その他、下記の機器でも、2.4 GHz の周波数帯の電波を使用しているものがあります。これらの機器の周辺では、音声がとぎれたり、使えなくなる場合があります。また、相手の機器の動作に影響を与えることがあります。

* 火災報知器・ワイヤレス AV 機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）

* 工場や倉庫などの物流管理システム・鉄道車両や緊急車両の識別システム

* マイクロ波治療器・ゲーム機のワイヤレスコントローラー

* 自動ドア・万引き防止システム（書店や CD ショップなど）

* 自動制御機器・その他、Bluetooth[®] 対応機器や VICS

* アマチュア無線局（道路交通網システム）など

① ②③ ④⑤ ⑥⑦ ⑧⑨

2.4 DS4/OF4/FH1/XX1

⑩

- ①「2.4」 GHz 帯を使用する無線設備を表します。
- ②「DS」 変調方式を表します。
- ③「4」 想定される与干渉距離（約 40 m）を表します。
- ④「OF」 変調方式を表します。
- ⑤「4」 想定される与干渉距離（約 40 m）を表します。
- ⑥「FH」 変調方式を表します。
- ⑦「1」 想定される与干渉距離（約 10 m）を表します。
- ⑧「XX」 変調方式を表します。
- ⑨「1」 想定される与干渉距離（約 10 m）を表します。
- ⑩2 400 MHz～2 483.5 MHz の全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

提供元

エコモット株式会社

〒060-0031

北海道札幌市中央区北1条東1丁目2番5号 カレスサッポロビル7F

製造元

バイオニア株式会社

〒113-0021

東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコート

< KHTZ19F > < CYR1247-B >